

平成 28 年 4 月 22 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

モリト株式会社の「S M B C なでしこ私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、モリト株式会社（代表取締役社長：一坪 隆紀）の発行する「S M B C なでしこ私募債」を買受け致しました。

「S M B C なでしこ私募債」は、私募債買受け時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く商品です。

今回対象となりました、モリト株式会社に対する診断結果は、女性の活躍が進んでいる「女性活躍の先進企業」となりました。

特に、モリト株式会社では、以下のような取組みを展開しておられます。

一般職から総合職への職掌変換、非正規から正社員への登用などを制度化し、従業員一人ひとりのニーズを詳しく把握したうえで、意気込みを重視して多様化を推進。

女性のキャリア促進を目的として、役員や管理職向けにきめ細かい講義や研修等を提供。経営層との年代別ランチミーティングや執行役員と若年層社員向けミーティングなどの交流機会も通じ、双方の意識向上を喚起。

IT を活用した勤務時間管理を運用すると同時に、一人ひとりへの連絡を含む手厚いコミュニケーションにより、長時間労働の削減を徹底的に実施。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向けて、経営トップが、「女性の活躍推進は、モリト HR ビジョンの実現にとって、必須条件。これまでの延長線上に未来はない。今が変革の分岐点。」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、2018 年までに「各事業本部にて働く女性の配置割合を 10%以上とする」「男性の育児休業取得人数を 3 名以上とする」「仕事と家庭の両立支援を目的とした柔軟な働き方の検討」をコミットしておられます。

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ私募債」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組みを、金融を通じて応援してまいります。

()“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、平成 24 年度より経済産業省と東京証券取引所が共同で実施している「なでしこ銘柄」の選定業務を受託する等、豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。



営業やコーポレートスタッフとして活躍している女性総合職

以 上